

「物忘れ」

やぶからぼうに何だろうと思われるかもしれないが、私は53歳である。

個人差があるのは重々承知のうえだが、50歳を過ぎてから物忘れが増えた。

最初にびっくりしたのは入浴中。

あれ？髪洗ったっけ？

洗ったかどうか思い出せない…。

本当にびっくりした。

同い年の友人に話した。

「そんなのあたりまえ。いつものこと」と言われ、少し安心した。

そして今度は、当法人の30歳男性職員に話してみた。

「大丈夫です。俺もあります」と言われて、逆に心配した。

しかし彼は、仕事ではそんな様子を全くみせない。

私かというと、仕事中でも「あ、いいこと思いついた」といった数十秒後に

「あれ、今思いついたのなんだっけ」である。

これには若い女性職員が心の底から驚いていた。

「えーっ」と言ったその声には、驚きつつも気遣いを忘れない彼女のやさしさがあらわれていて、ぐっとおさえめの、ささやくような「えーっ」であった。

その気遣いをうれしく感じながら、いよいよこんな風に気を使われる年齢になったんだと実感した。

さて、そんな物忘れ対策は「メモ」であるが、遠くから見るとアラビア文字っぽいそのメモは、役に立ちにくい一面もある。

その点、若い職員のサポートは絶大である。

私があれば、それとか言っているそばで、すみやかに代弁してくれる。

サポートを受けられることに、心から感謝し、同時に、私も誰かをサポートしたいと思う。

よく言われることだが、助けてくれた人に直接お返しできなくても、自分の「できること」が、いつか誰かの助けになる。

そのつながりが社会をつくっている。

子育てしながら、ずっとそう思ってきた。

たくさんの方が助けてくれた。

その全ての人に直接お返しすることはできないから、社会にお返ししたいと思う。

そういいながら、今朝は下地クリームをつけずにファンデーションをつけてしまった。

仕上がりは粉っぽいけど、そんなこと誰も気づかないから大丈夫。